

一般財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会 北海道特別支援学校へのフットサル巡回指導活動報告

- 報告者 吉田 順 省
- 報告期日 平成 29 年 11 月 13 日
- 実施校 北海道紋別高等余語養護学校
- 巡回指導者 吉田 順 省、笠間 慎 也
- 当該校担当教諭 三木 進 健 教諭
- 実施日 平成 29 年 11 月 7 日 (火)
- 実施日程 ① 13:30 ~ 15:15 2.3 年生 (生徒数 72 名) 体育授業
② 15:40 ~ 17:20 ・紋別高等養護学校フットサル同好会 (1~3 年生 32 名)
・紋別市内のサッカー少年団 14 名

○実施概要

① 2.3 年生の体育授業

今回は人数が多く、体育館ということもあり一人ひとりがボールを触ることが難しい状況でしたので、クラス対抗のグループで行うメニューを実施させて頂きました。実施内容は、まず初めにフットサルに関する簡単な講義をさせて頂きその後、フットサルの基礎となるドリブルのメニューでフットサルの特徴を取り入れたものでクラス対抗のゲーム形式の内容を行い、最後には各クラスから代表者を募り、財団職員と教師チームの混合チームで試合を実施しました。仲間と協力して目標に向かい挑戦する、成功させる、仲間を応援するなど「チームワーク」、そして仲間とともにスポーツを行う「楽しさ」というテーマをフットサルを通じて感じてもらえるように授業を実施させて頂きました。

生徒の皆さんはとても明るく積極的に授業を受けて頂き、笑顔溢れる楽しい授業になったと感じております。



② フットサル交流会

7月のフットサル大会にも参加して頂いたフットサル同好会の生徒さんと今回は紋別市内のサッカー少年団の子供たちとの交流も兼ねたフットサルクリニックを開催させて頂きました。

最初に前の時間同様にフットサルについての講義をさせて頂いた後に、紋別高等養護学校様から事前に「地域との交流」ということがありましたので生徒さんと子供たちが触れ合える内容を実施させて頂きました。生徒と子供が二人一組になってお互いに協力する、相手への思いやりを大切に、フットサルの特徴でもある足の裏を使ったドリブルを中心としたメニューを行いました。最後には前の時間と同様に試合を実施し、生徒の皆さん、少年団のお子さんと一緒に楽しくフットサルすることが出来ました。



○自己評価及び今後の課題等

今回の巡回指導は、体育授業、交流会と2回の指導を行い、2回とも明るく楽しいフットサル授業が行えたと感じております。しかし、今回は予定時間を超えてしまい、ご迷惑をお掛けしました。私の進行において時間調整の面では反省しなければいけないことでもあります。

今回は他の巡回時同様にフットサルに限らず、スポーツを行う事で今後「心と体の健康」が大切になることと、「人との繋がり」についても伝えさせて頂きました。

高校を卒業して社会に出ると一人では生きていけないので、仕事においても私生活においても「人との繋がり」が大切になると私は思っています。今回の巡回指導でも「協力する」、「応援する」などといったことを織り交ぜたメニューを行わせて頂き、交流会では年齢が離れた人との関わる会となりました。フットサルを行う中で障がいがあるない、年齢、男女など関係ありません。プレーする全員が楽しめるスポーツ、また人間としても成長させてくれるスポーツだと私は強く感じております。運動・スポーツを行う事で健康的で精神的にも強くなり、人間としても成長していける生徒さん、少年団の皆様にお話しさせて頂きましたので、皆様の今後にお役に立てればと思います。

校長先生をはじめ、教頭先生、担当の三木経論、たくさんの先生の皆様にご協力頂き、大きな怪我もなく終えることが出来ました。また、来年も是非お願いしたいなどお褒めのお言葉を掛けて頂き、感謝の気持ちで一杯です。

当財団の活動において、私たちにしか出来ない活動であると思っております。道内の支援学校の生徒さん、親御さん、先生の皆さんの少しでも今後のお役に立てるよう、また、今後繋がる時間を過ごして頂けるよう、慢心することなく「小野寺眞悟財団」の指導担当者として、活動してまいりますので今後もよろしくお願い致します。